

## 前回定例会（平成25年12月4日）以降の主な動き

平成26年1月8日  
資源エネルギー庁  
柏崎刈羽地域担当官事務所

### 1. 原子力・エネルギー政策の見直し

#### (1) エネルギー基本計画の策定

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会

第12回【12月6日開催】、第13回【12月13日開催】

原発事故後の国のエネルギー政策を年内に取りまとめるため議論を実施。第12回では事務局よりエネルギー基本計画に対する意見案（とりまとめ案）が提示され、第13回でとりまとめが行われた。

本とりまとめ案については、意見募集（パブコメ）を12月6日～1月6日の間に実施しており、1月中に閣議決定によりエネルギー基本計画を定める予定。

<資料1，資料2>

### 2. 高レベル放射性廃棄物の最終処分計画見直し

#### (1) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会放射性廃棄物WG

第7回【12月19日開催】

停滞している高レベル放射性廃棄物の最終処分のあり方について本年5月より検討中。第7回では最終処分の推進体制等について議論。

#### (2) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会原子力小委員会地層処分技術WG

第3回【12月18日開催】

上記放射性廃棄物WGの議論とあわせて、これまで進めてきた地層処分の安全性・技術的信頼性について、関連学会等から選ばれた専門家により最新見等を踏まえた再評価を行い、今年度中に取りまとめを行う。

第3回では地質環境特性に関する検討が行われた。

### 3. 福島第一原子力発電所の廃炉及び汚染水処理対策

#### (1) 汚染水処理対策委員会（第11回）【12月10日開催】

学識経験者、研究機関、東京電力、経産省等の委員構成。本委員会では汚染水問題の潜在的リスクを洗いだし、汚染水対策を予防的かつ重層的に実施する。第11回では汚染水処理対策報告書案等について議論し、同日、報告書を経産大臣に提出した。

#### (2) 汚染水対策現地調整会議（第4回）【12月12日開催】

政府原子力災害対策本部下に設置した現地会議。汚染水問題について現地の政府機関、東京電力等関係者の情報共有、連携を強化し、対策の具体的な進め

方について検討を行う。第4回では汚染水対策の進捗状況等について議論。

(3) 廃炉・汚染水対策チーム会合（第2回）【12月18日開催】

政府原子力災害対策本部下に設置したチーム会合。チーム長の茂木経産大臣ほか副官房長官、関係省庁副大臣等からなる。第2回会合で汚染水追加対策を了承するとともに、廃炉についても国内外から技術提案を公募することとなった。

(4) 原子力災害対策本部会議・原子力防災会議合同会議【12月20日開催】

「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」及び「福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水問題に対する追加対策」を審議決定。＜資料3＞

(5) トリチウム水タスクフォース（第1回）【12月25日開催】

トリチウム水の分離技術や放出リスクの評価について専門家により年度内にとりまとめ。

#### 4. その他

(1) 原子力関係閣僚会議（原子力政策）及び最終処分関係閣僚会議（高レベル放射性廃棄物処分）の設置開催【12月17日】

～政府一丸となり国が前面に立って取り組みを進める。